

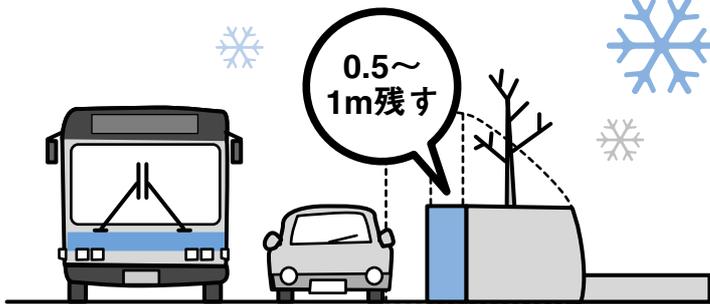
# で創る札幌の冬の暮らし

## 行政

冬の暮らしを守るため、市では排雪する雪の量の抑制や、近隣市などと連携した効率的な排雪に取り組んでいます。

### 抑制 排雪量を減らす

車両通行の支障とならない程度に路肩の雪を0.5~1m残し、排雪する雪の量を減らしています。一方、バスレーンのように、通勤や通学に関わる主要な道路については排雪を強化するなど、メリハリのある排雪を行っています。



### 連携 近隣市と雪たい積場を共有

国や近隣の石狩市などと連携し、お互いの雪たい積場を融通し合っています。それにより、トラックの運搬距離を短縮し、効率的な排雪につなげています。

### その他にも

- 公園や雨水貯留池など、既存の公共用地を雪置き場として利用
- 小学校のグラウンドを、通学路の安全確保のために排雪した雪の置き場として活用



↑ 市内に31カ所ある雨水貯留池を地域の雪置き場として利用

## 市民

雪たい積場に運ぶ雪が減ると、排雪作業がスムーズに行われ、地域の暮らしを守るにつながります。そのため、皆さんに守ってほしいマナーがあります。

### 道路に雪を出さない

家の敷地内の雪を道路に出すと、交通事故の原因となるほか、雪たい積場に運ぶ雪の量が増え、作業に時間がかかります。それが他の地域の排雪の遅れにつながり、安全な道路の確保ができなくなります。

### 排雪費用は除雪の80倍!

幹線道路1km当たりの除雪費用は約3万円。これに対して、排雪作業には多くの人手と機械が必要となるため、その80倍の約240万円も掛かります。



### 雪を汚さない

雪の中にごみが混ざると、解けたときにごみが路上に残るほか、雪解け水によって流され、川が汚れてしまいます。夜中のごみ出しや、空き缶・たばこなどのポイ捨てはやめましょう。



### 路上駐車をしない

車両を避けて作業しなければならず、十分な除排雪ができません。作業スピードが落ち、結果として除排雪されないままになることもあります。

